

# 「ニューノーマル」におけるワークスペースのデザイン研究

Design Research Of Workspaces In The New Normal

ショウ チュウセイ



## ワークするためのストリートファニチャー

世の中の様々な変化で、私たちの新しいワークライフスタイルが「ニューノーマル」に定着すると考えられる。その変化に伴い街全体でワークができる環境になる。そこで新しい環境に適応するストリートファニチャーが「ニューノーマル」の一環として必要とされると考え、研究を行った。

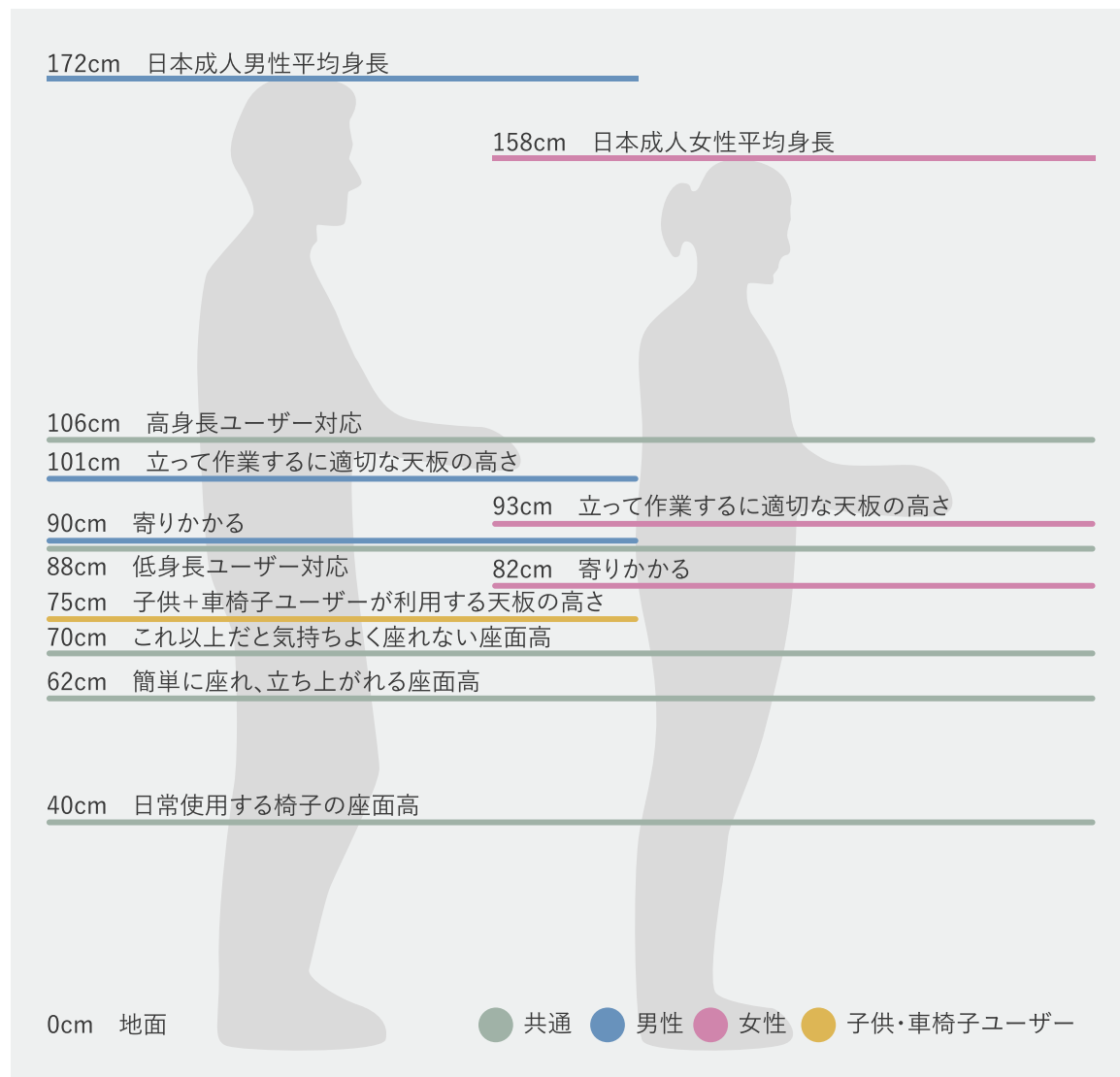
## Street Furniture For Working

In the 'New Normal', one can safely assume that the whole city will become an environment where work is possible. Therefore, I thought that street furniture that adapts to this new environment is required to adapt and meet the needs of an ever-changing society.

## ワークするためのストリートファニチャー

コロナ禍の影響や現代人のワークへの考え方の変化によって、「ニューノーマル」時代には、勤務時間を自分で自由に選べるようになる。そして、ワークスペースの制限もなくなり、街全体がワークできるようになると考えられる。屋外のワークスペースについて研究を行い、提案する。

今回提案するのは「ニューノーマル」的なワークスタイルに対応し、30分~60分の利用のためのストリートファニチャー。立って、座って、寄りかかっての利用に対応するため、屋外用テーブル、屋外用スツールとヒップパーを含めた、組み合わせ自由なストリートファニチャーとなっている。



#### デザイン説明 1

日本人の成人平均身長を基準に、ユニバーサルデザインの視点で検証を行った。検証の結果に基づき、違うサイズの提案で多くのユーザーに対応する。組み合わせることで様々なシーンに対応する。



#### デザイン説明 2

「ニューノーマル」時代に、1人で30分～60分の利用を考えたワークするためのストリートファニチャーとなっている。識別度の高い配色を採用する。テレワークに対応するため、ワイヤレス充電機能を搭載した。